

朝日村長 小林弘幸 様

朝日村議会議長 塩原 智恵美



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援策等について（提案）

新型コロナウイルス感染症について、政府は 16 日夜、緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大しました。今後、先の見えない不安な日々が現実となっており、村民は様々な心配と同様に日々の生活に重大な支障が出始めております。こうしたことから収束のみえない長期化する事態に少しでも村民生活に潤いを与え、不安を解消し、元気が出る施策が対応できないかと全議員が考えを出しあって、次のとおりまとめましたので、ご提案申しあげます。

なお、この緊急事態に、村単独事業として迅速に対応されることが村民生活の応援につながると考えますので、よろしく申し上げます。

記

基本的な考え方

令和 2 年度予算はコロナ対策によって執行できない事業がすでに発生し、今後も続く予想される。こうした未執行予算を精査して思い切ったコロナ対策予算の再編成を早急に検討し、村民生活に影響を与えている事業に振り替えていただくと共に、この為の補正予算は早急にまとめて村民生活に早く還元されたい。

1 生活給付策

- ・生活災害への応援支援金給付 村民 1 人 1 万円支給

1 事業者向け融資支援策

- ・事業者資金繰り支援として「新型コロナウイルス特別支援資金（運転利子補給）」（仮）創設。

1 事業主等向け給付型助成金

- ・事業主等に給付型補償を実施できる体制整備。

1 ストレス・DV防止策

- ・子どもケアサポート（ストレス解消・健康維持）体制づくりの構築
- ・長期休校や福祉施設を利用できないことなどにより家庭内で起こりうる虐待やDV、引きこもりなどが社会問題化している。こうした実態の把握や解決策など不安解消に向けた対応策を講じるための地域包括支援センター・社協・医療関係者や民生児童委員等による関係者会議（仮）などの体制づくりや取組み。

1 隔離体制の構築

- ・感染拡大時を想定した準備を至急対応されたい。
- ・軽症者が病院以外で隔離することとなった場合に備えての対策・準備を。
※自宅待機ではなく、別に隔離する所を考えておく必要があるのでは。
（例 コテージ・緑の体験館・キャンプ場バンガロー・旧おひさま保育園）

1 広報

- ・新型コロナウイルス感染症対策の専用窓口の設置
- ・コロナ倒産をなくすため、国や県の支援策を小規模事業者につなぐ広報。
- ・総務省が出している村民生活に直結する情報の村民周知。
- ・国の施策、申請手続き等、広報でわかりやすく。
- ・経済産業省のホームページ掲載の各種情報を村内商工業事業者へ提供。
- ・村の対策会議の決定事項のタイムリーな公表を迅速に対応されたい。
- ・村内外の移動制限の広報（村民及び村外者）
- ・新型コロナウイルス感染症に関連した特殊詐欺の告知等

1 その他

- ・H26策定の「新型インフルエンザ等対策行動計画」について現状は大きく変化しており、課題に対する対応策も示されておらず実効性に欠けるように思われる。例えばパンデミック対応タイムライン（大阪府河南町）を参考に作成し試行したらどうか。また、行動計画は村民が共有することに意義があると考えます。
- ・今回の非常事態は大規模災害に匹敵するという危機感を村も議会も共有し、村民の理解を求めながら対応することが被害を最小限に食い止められると考える。村民の安心と安全を確保するための村長自らのメッセージを求める声がある。（告知放送やAYTなど）